

2016年1月27日

公益財団法人横浜市男女共同参画推進協会
一般財団法人大阪市男女共同参画のまち創生協会
公立大学法人福岡女子大学 野依智子

現在、働く女性に占める非正規雇用率は約6割にのぼっている。女性の非正規雇用という用語は既婚女性のパートタイム労働やフリーターをイメージされがちだが、その定義におさまらない、非正規職で働くシングル女性が増加している。特に、壮年期（35～44歳）のシングル女性の非正規労働者数はこの10年間で2.7倍となっている。

2014年度、(公財)横浜市男女共同参画推進協会では、「非正規で働くシングル女性(35～44歳)のニーズ・課題に関するヒアリング調査」(2015年3月報告書発行)を実施し、雇用と経済不安、健康問題、親の介護、住まい方、孤立などの課題があることを把握した。これを受け、社会的な支援策のあり方を具体的に探ることを目的に、より多くの当事者の声からニーズを把握するためウェブアンケートを実施した。この中間報告はアンケートの集計によるものである。

さらに、回答者のうち、承諾を得た者に対するグループインタビューを3都市で実施した。これら一連の調査の最終的な分析結果は、2016年3月に報告書として発表予定である。

【調査概要】

(1) 調査主体

公益財団法人横浜市男女共同参画推進協会【事務局】
一般財団法人大阪市男女共同参画のまち創生協会
福岡女子大学 野依智子

(2) 調査対象

横浜市、大阪市、福岡市を中心とする地域に在住し、非正規職で働いている35-54歳で子どものいないシングル女性※

※35-44歳の層がさらに年齢を重ねた時の課題を想定するため、対象年齢を54歳までとした。

※非正規職には、個人事業主や業務請負など、雇用契約以外の人も含めた。

※シングルマザーについては、各種調査報告がすでに出ていることから対象外とした。

(3) 調査方法

調査票のURLをメディア※で告知し、ネット上で回答してもらうウェブアンケート

※3市の男女共同参画センター等のネットワーク及び、新聞、ネットマガジンの協力を得た。

(4) 調査期間

2015年10月3日(土)～10月30日(金)

(5) 回答件数

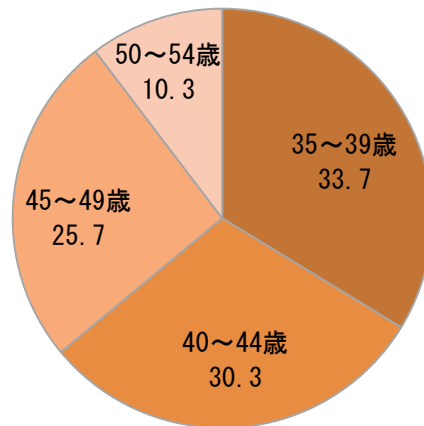
279件(有効回答件数:261件)

【ウェブアンケート】集計結果より（抜粋）

1 回答者のプロフィール

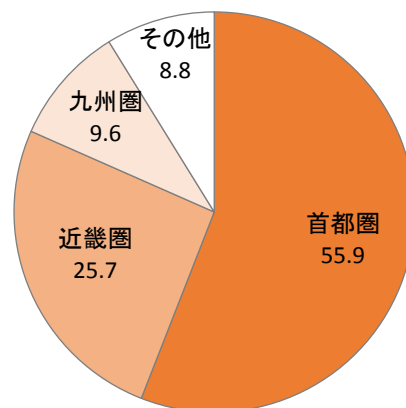
回答者の年代は、3分の2が35～44歳、3分の1が45～54歳だった。首都圏の回答者が55.9%にのぼり、半数以上が大卒以上の学歴であった。一人暮らしと同居者ありがおよそ半数ずつだった。

① 年齢（SA）



n=261
(単位：%)

② 居住地（SA）

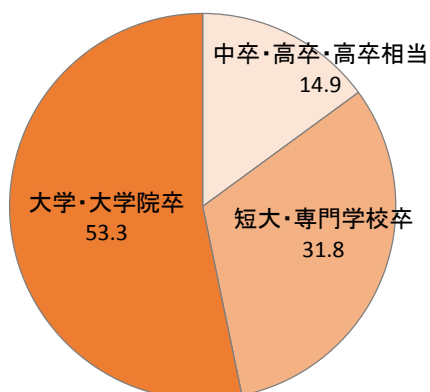


n=261
(単位：%)

首都圏（横浜市を含む）：東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県、栃木県
近畿圏（大阪市を含む）：大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、滋賀県、三重県
九州圏（福岡市を含む）：福岡県、長崎県、熊本県
その他：甲信越、中部圏、東北、北海道

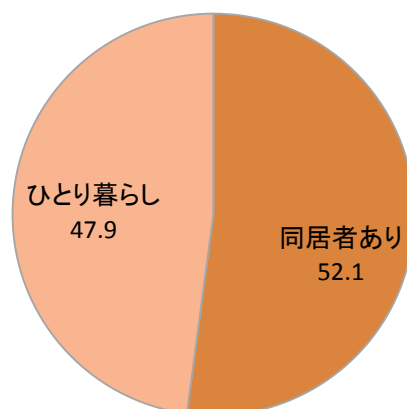
③ 最終学歴 (SA)

n=261
(単位：%)



④ 同居状況 (SA)

n=261
(単位：%)



2 仕事について

回答者の現在の就業形態は「契約・嘱託」が 28.7%、「派遣社員」23.4%、「パート・アルバイト」20.3%の順で多く、「業務請負等」「非常勤」も約 1 割ずつみられる。

初職の就業形態は“正規職”が 52.1%と半数強だが、これを年代別にみると「35～39 歳」は、約 7 割が初職から“非正規職”についており、若い世代ほど初職の“正規職”比率が低い。

年収は、学歴が高いほど多い傾向がみられ、就業形態別にみると、「契約・嘱託」では 250 万円以上、「派遣社員」では 150～250 万円、「パート・アルバイト」では 150 万円未満の比率が 64.2%と非常に高くなっている。

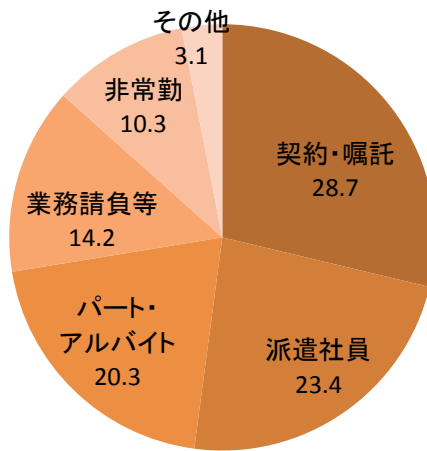
週あたりの労働時間は、「40 時間以上」が 37.5%と最も多く、7 割以上が 30 時間以上働いている。また、仕事のかげもちを「している」者が、3 割にのぼる。

非正規職についている理由としては、「正社員で働ける会社になかったから」が 6 割強で、不本意に非正規職についている者が多い。

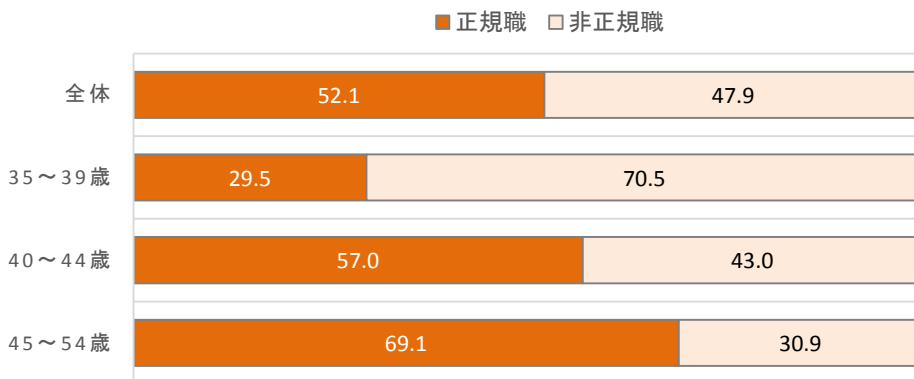
雇用契約期間は、1 年未満が 4 割を超え、1～3 年未満が 3 割となっている。

① 就業形態

n=261
(単位：%)

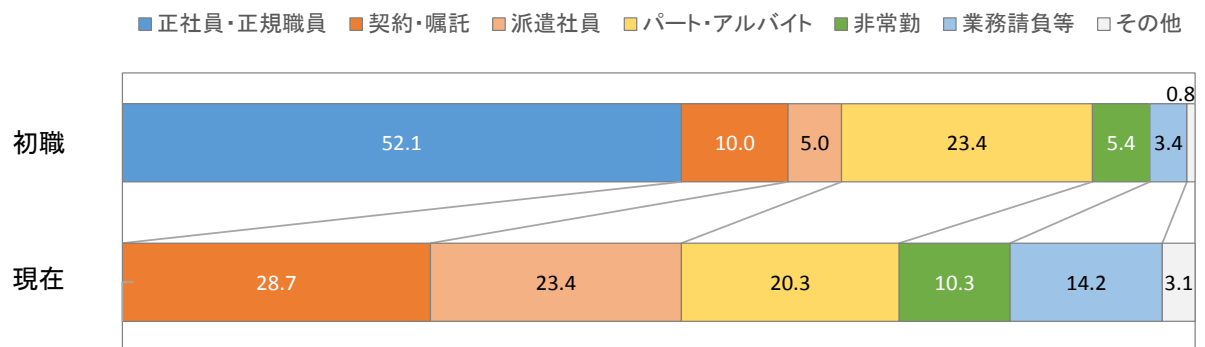


② 初職の就業形態（年齢別）(SA)

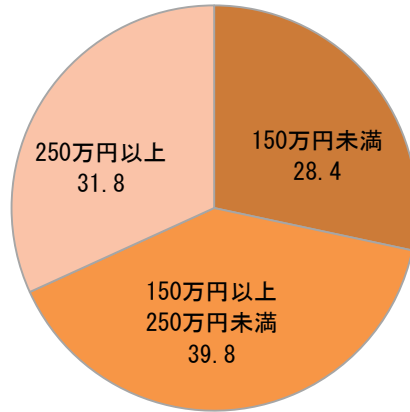


全体 n=261
35～39歳 n=88
40～44歳 n=79
45～54歳 n=94
(単位：%)

③ 就業形態－初職と現職の比較－

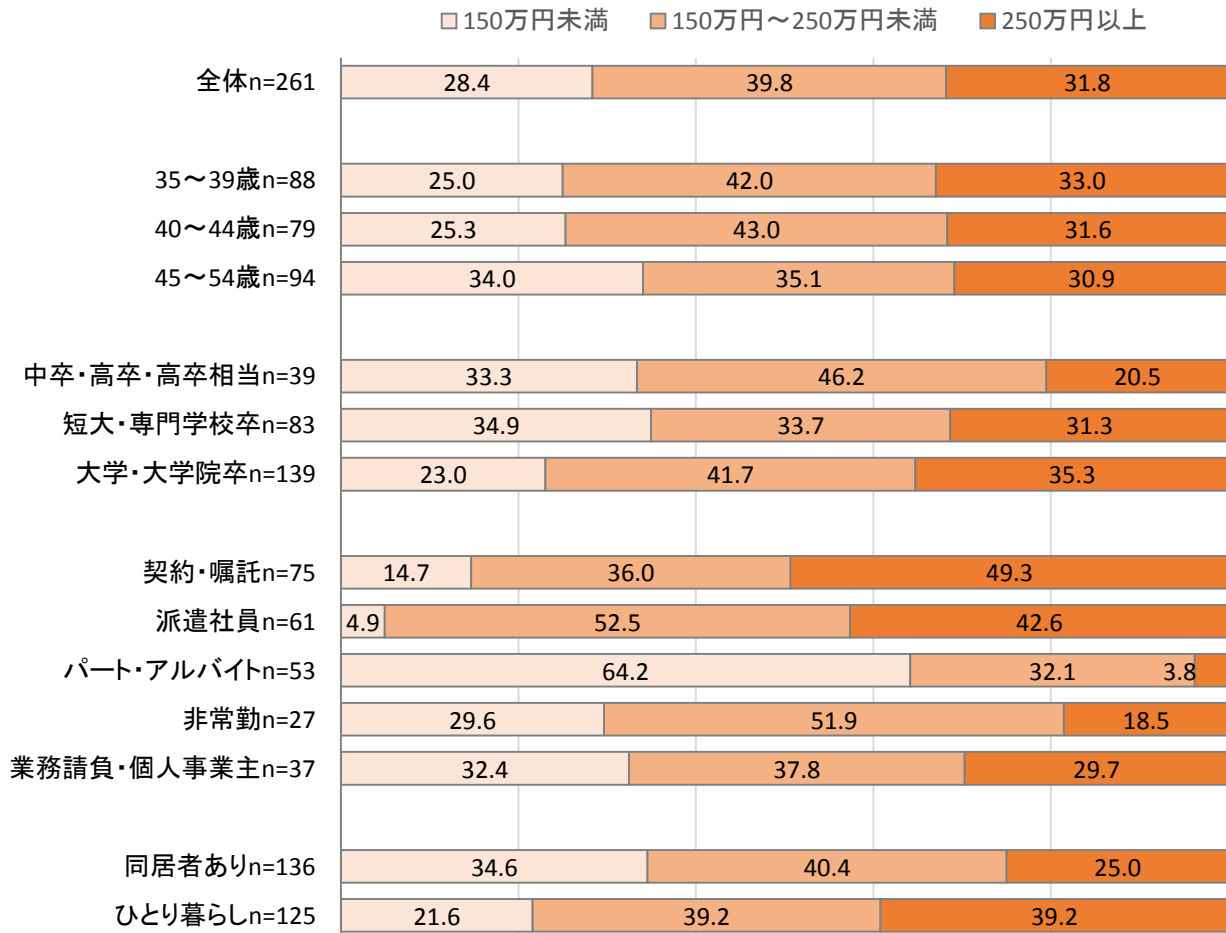


④ 現在の年収

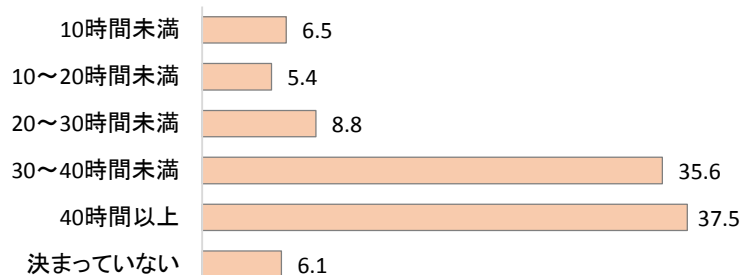


n=261
(単位：%)

⑤ 年収3区分×年齢・学歴・就業形態・同居状況

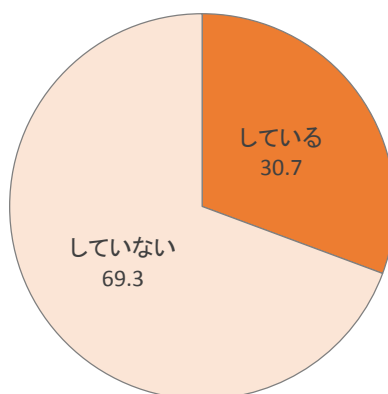


⑥ 週あたりの労働時間 (SA)



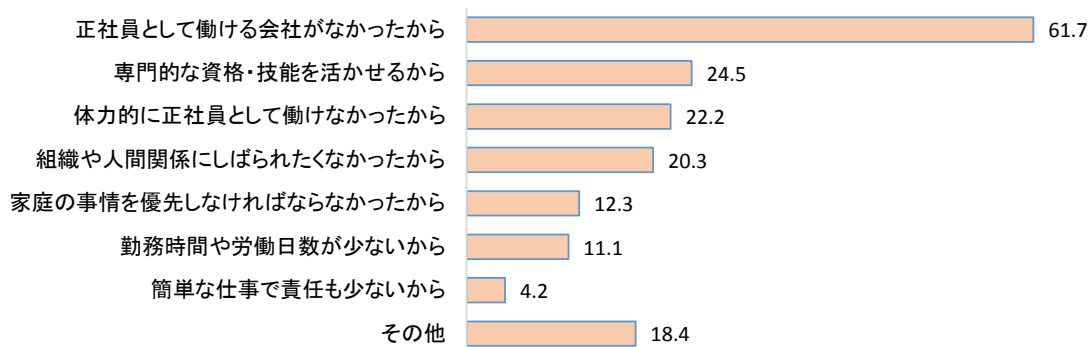
n=261
(単位：%)

⑦ 仕事のかけもち (SA)



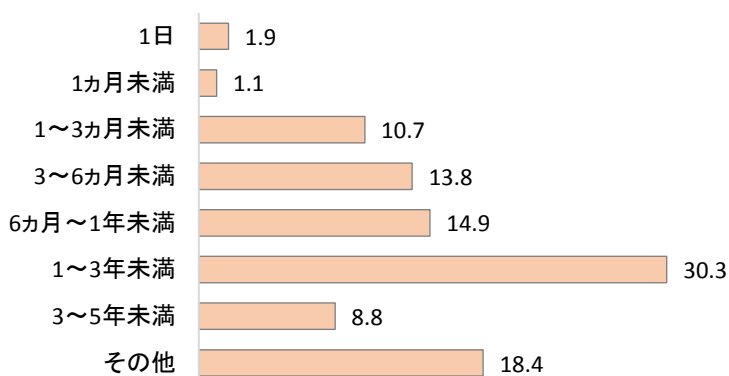
n=261
(単位：%)

⑧ 非正規職についている理由 (MA)



n=261
(単位：%)

⑨ 現在の仕事の雇用契約期間 (SA)



n=261
(単位：%)

3 悩みや不安

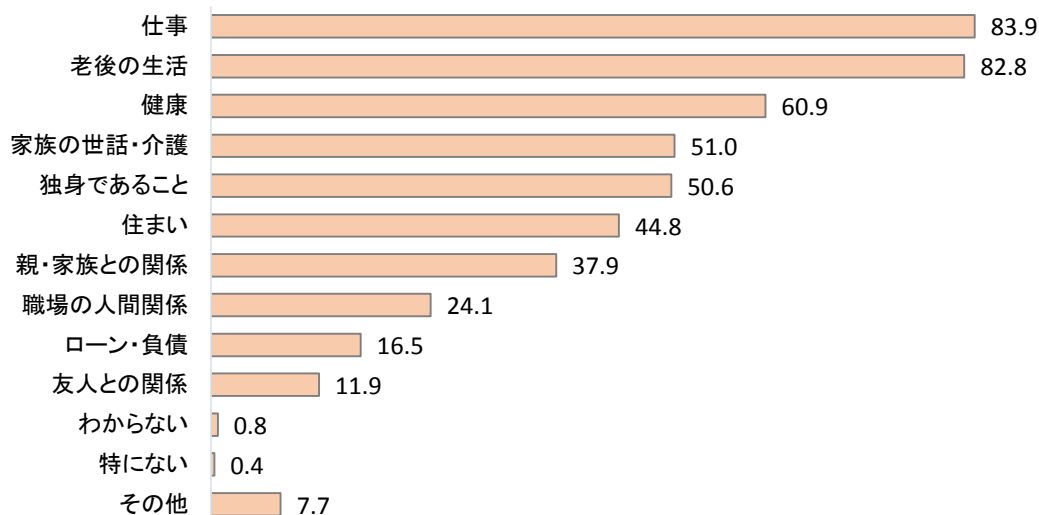
現在の悩みや不安として、8割以上が「仕事」「老後の生活」を、約6割が「健康」をあげている。「健康」をあげた層を属性別にみると、「年収150万円未満」「パート・アルバイト」が7割前後と高くなり、健康課題が示唆される。

仕事に関する悩みや不安として、8割以上が「収入が少ない」を、6割弱が「雇用継続（解雇・雇止め）」をあげている。

① 現在の悩みや不安 (MA)

※1人平均4項目を選択

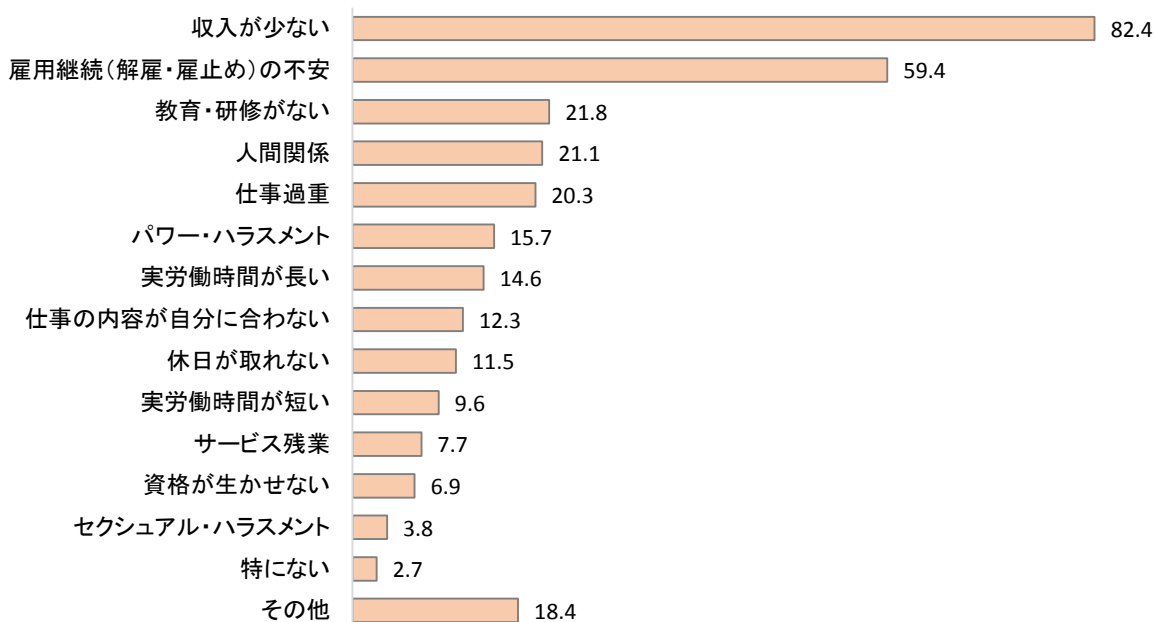
n=261
(単位：%)



② 仕事に関する悩みや不安 (MA)

※1人平均3項目を選択

n=261
(単位：%)



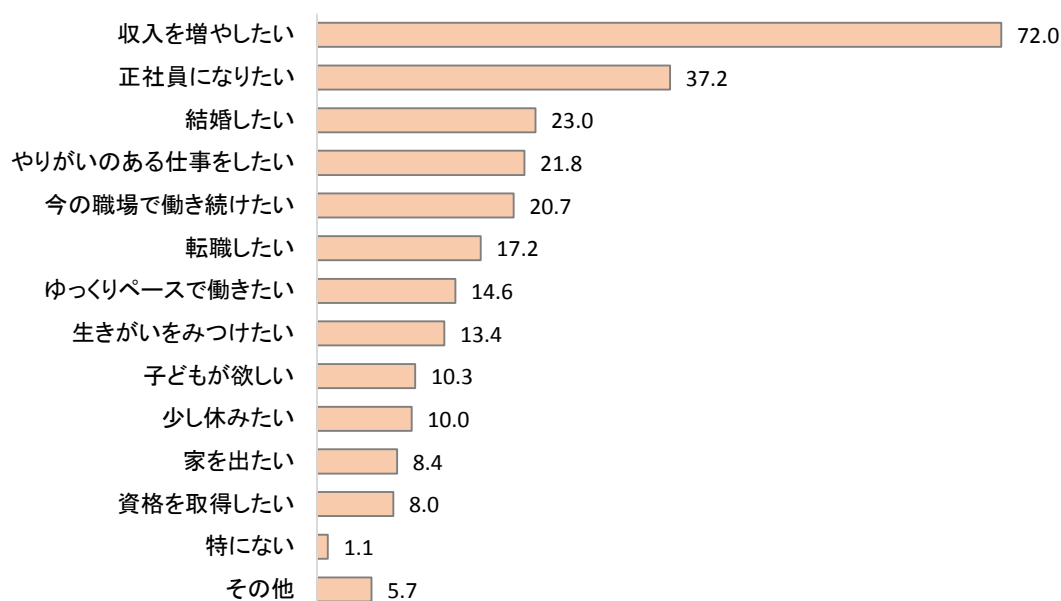
4 今後の希望

今後の希望としては、7割強が「収入を増やしたい」をあげている。属性別にみると、「非常勤」「契約・嘱託」で「正社員になりたい」が半数を超える一方、「年収150万円未満」「パート・アルバイト」で、「ゆっくりペースで働きたい」が高くなっている。

利用したいサポートとしては、「仕事に必要なスキルアップの場」が最も高いが、属性別にみると、「中卒・高卒・高卒相当」で「職業訓練・資格取得支援」が6割と高く、「年収150万円未満」「パート・アルバイト」で「心身がリフレッシュできる場」「同じ立場の人たちとの交流の場」が高い。属性によってサポートのニーズが異なり、多様な支援が求められている。

① 今望んでいること、めざしたいこと (MA)

n=261
(単位：%)



② 利用したいサポート (MA)

n=261
(単位：%)

